



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月6日

上場会社名 日本新薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4516 URL <http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前川 重信  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務部長 (氏名) 櫻井 太郎 TEL 075-321-9114  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向けカンファレンスコール）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	87,019	12.0	16,435	7.1	17,244	7.9	12,698	8.9
2018年3月期第3四半期	77,703	1.9	15,342	△12.3	15,975	△15.0	11,660	△12.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 10,237百万円 (△29.6%) 2018年3月期第3四半期 14,532百万円 (4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	188.52	—
2018年3月期第3四半期	173.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	159,486	132,213	82.7	1,959.27
2018年3月期	155,887	125,689	80.5	1,862.54

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 131,964百万円 2018年3月期 125,451百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2019年3月期	—	29.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	6.5	18,500	8.3	19,000	8.9	14,000	8.1	207.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	70,251,484株	2018年3月期	70,251,484株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,897,245株	2018年3月期	2,896,632株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	67,354,525株	2018年3月期3Q	67,355,627株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、カンファレンスコール（電話会議）による機関投資家・アナリスト向け決算説明会を2019年2月6日17時より開催する予定です。この説明会で使用する資料については、決算発表と同時に当社ウェブサイトで開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 主力製品売上高	10
(2) 製品開発状況	11
(3) 製品開発状況・補足資料	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の業績は、売上高は870億1千9百万円と対前年同期比12.0%の増収となりました。臨床試験の進展に伴う研究開発費や新製品群の販売促進費等が増加しましたが、増収により営業利益は164億3千5百万円と対前年同期比7.1%の増益、経常利益は172億4千4百万円と対前年同期比7.9%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益も126億9千8百万円と対前年同期比8.9%の増益となりました。

医薬品事業では、自社創薬品の肺動脈性肺高血圧症治療剤「ウプトラビ」、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤「ザルティア」、ED治療剤「シアリス」、「ウプトラビ」の海外売上に伴うロイヤリティ収入および共同販促収入等が伸長しました。加えて、昨年8月に中外製薬株式会社と共同発売したCD20陽性の濾胞性リンパ腫治療剤「ガザイバ」の売上および「ウプトラビ」のマイルストーン収入等が寄与し、売上高は757億9千8百万円と対前年同期比13.1%の増収となりました。

機能食品事業では、プロテイン製剤、健康食品素材の売上が増加し、売上高は112億2千1百万円と対前年同期比4.9%の増収となりました。

## [研究開発の状況]

## (国内開発状況)

- ・肝中心静脈閉塞症（VOD）治療剤「NS-73（一般名：デフィプロチドナトリウム）」については、2017年3月にジャズ・ファーマシューティカルズ社（アイルランド）より導入し、昨年9月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受け、昨年10月17日に承認申請を行いました。また、昨年6月よりVODの予防を対象とした第三相試験を、ジャズ・ファーマシューティカルズ社と共同で開始しました。
- ・「NS-304（一般名：セレキシパグ）」については、慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象とした第三相試験を、アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で実施中です。同効能・効果については、2016年6月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けました。また閉塞性動脈硬化症を対象とした後期第二相試験を、日本新薬が単独で実施中です。さらに腰部脊柱管狭窄を対象とした前期第二相試験を、日本新薬が単独で昨年2月より開始しました。
- ・鉄欠乏性貧血治療剤「NS-32」については、2016年12月にファーマコスモス社（デンマーク）から導入し、第三相試験を準備中です。
- ・子宮内膜症治療剤「NS-580」については、2017年7月より前期第二相試験を実施中です。
- ・「NS-17（一般名：アザシチジン）」については、昨年1月より急性骨髄性白血病を対象とした第二相試験を開始しました。
- ・デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤「NS-065/NCNP-01」については、第一/二相試験を終了しました。本剤は、2015年10月に厚生労働省より「先駆け審査指定制度」の対象品目として指定されました。
- ・再発・難治性急性骨髄性白血病治療剤「NS-917」については、2017年3月にデルタフライファーマ株式会社（徳島市）より導入し、開発準備中です。
- ・二次性急性骨髄性白血病治療剤「NS-87」については、2017年3月にジャズ・ファーマシューティカルズ社から導入し、開発準備中です。

## (海外開発状況)

- ・合成抗菌剤「プルリフロキサシン」については、中国において導出先のリーズ・ファーマ社（香港）が第三相試験を終了し、2017年9月に承認申請しました。
- ・「NS-065/NCNP-01」については、米国において第二相試験を実施し、段階的承認申請を開始しました。本剤は、FDAより2016年10月にファストトラック指定を受け、さらに2017年1月にはオーファンドラッグ指定および希少小児疾患指定を受けました。
- ・骨髄線維症治療剤「NS-018」については、米国において次試験を準備中です。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、1,594億8千6百万円と前連結会計年度末に比べ、35億9千9百万円増加しました。流動資産は、たな卸資産が減少しましたが、受取手形及び売掛金、現金及び預金が増加し、1,032億1千7百万円と前連結会計年度末に比べ80億4千1百万円増加しました。固定資産は、投資その他の資産、有形固定資産等が減少し、562億6千9百万円と前連結会計年度末に比べ44億4千1百万円減少しました。

負債は、未払消費税等が増加しましたが、支払手形及び買掛金、賞与引当金、退職給付に係る負債等が減少し、272億7千3百万円と前連結会計年度末に比べ29億2千4百万円減少しました。

純資産は、利益剰余金が増加し、1,322億1千3百万円と前連結会計年度末に比べ65億2千4百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、概ね当初の計画に沿って推移しており、連結業績予想につきましては、昨年5月9日の決算公表時より変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,067	23,519
受取手形及び売掛金	39,593	47,111
電子記録債権	571	676
有価証券	11,819	9,939
商品及び製品	14,337	13,251
半製品	1,341	1,739
仕掛品	330	204
原材料及び貯蔵品	4,337	3,865
その他	1,777	2,910
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	95,176	103,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,508	9,264
土地	7,463	7,463
その他(純額)	4,130	3,905
有形固定資産合計	21,102	20,632
無形固定資産	484	428
投資その他の資産		
投資有価証券	26,309	22,370
繰延税金資産	517	1,434
長期前払費用	9,621	8,899
その他	2,676	2,502
投資その他の資産合計	39,124	35,208
固定資産合計	60,710	56,269
資産合計	155,887	159,486

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,639	7,063
未払金	6,718	6,184
未払法人税等	2,115	2,198
賞与引当金	2,873	1,449
その他	2,106	3,774
流動負債合計	22,454	20,670
固定負債		
繰延税金負債	—	4
退職給付に係る負債	7,422	6,278
その他	321	320
固定負債合計	7,743	6,602
負債合計	30,197	27,273
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,445	4,445
利益剰余金	109,078	118,072
自己株式	△2,464	△2,468
株主資本合計	116,234	125,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,469	8,751
繰延ヘッジ損益	△5	△5
為替換算調整勘定	4	6
退職給付に係る調整累計額	△2,252	△2,010
その他の包括利益累計額合計	9,216	6,741
非支配株主持分	237	248
純資産合計	125,689	132,213
負債純資産合計	155,887	159,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	77,703	87,019
売上原価	35,321	39,091
売上総利益	42,381	47,928
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	6,716	6,861
賞与引当金繰入額	965	1,006
販売促進費	2,971	3,790
退職給付費用	549	526
減価償却費	339	267
研究開発費	9,051	11,727
その他	6,445	7,312
販売費及び一般管理費合計	27,039	31,493
営業利益	15,342	16,435
営業外収益		
受取利息	24	10
受取配当金	448	512
受取賃貸料	345	372
為替差益	2	217
その他	148	95
営業外収益合計	969	1,208
営業外費用		
支払利息	2	2
寄付金	135	150
賃貸費用	133	131
その他	64	114
営業外費用合計	335	399
経常利益	15,975	17,244
税金等調整前四半期純利益	15,975	17,244
法人税、住民税及び事業税	3,786	4,369
法人税等調整額	517	161
法人税等合計	4,304	4,530
四半期純利益	11,671	12,713
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,660	12,698

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	11,671	12,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,585	△2,718
繰延ヘッジ損益	9	△0
為替換算調整勘定	△6	1
退職給付に係る調整額	273	242
その他の包括利益合計	2,861	△2,475
四半期包括利益	14,532	10,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,522	10,222
非支配株主に係る四半期包括利益	10	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	67,003	10,699	77,703	—	77,703
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	67,003	10,699	77,703	—	77,703
セグメント利益	14,716	625	15,342	—	15,342

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	75,798	11,221	87,019	—	87,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	75,798	11,221	87,019	—	87,019
セグメント利益	15,703	731	16,435	—	16,435

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 主力製品売上高

(単位:百万円)

製品名	薬効	第3四半期累計				通期	
		2018年 3月期	2019年 3月期	前年同期 増減率	進捗率	2018年 3月期	2019年 3月期(予)
ビダーザ	骨髄異形成症候群治療剤	12,233	10,964	△ 10.4%	80.6%	15,643	13,600
ザルティア	前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤	8,092	9,285	14.7%	79.4%	10,449	11,700
トラマール・ワントラム	がん疼痛・慢性疼痛治療剤	5,201	5,605	7.8%	80.1%	6,622	7,000
ルナベル	月経困難症治療剤	4,260	4,152	△ 2.5%	106.5%	5,374	3,900
アドシルカ	肺動脈性肺高血圧症治療剤	3,636	4,064	11.8%	81.3%	4,617	5,000
ウブトラビ	肺動脈性肺高血圧症治療剤	1,979	3,710	87.4%	80.7%	2,690	4,600
シアリス	勃起不全(ED)治療剤	2,897	3,707	28.0%	123.6%	3,825	3,000
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	2,223	1,696	△ 23.7%	80.8%	2,761	2,100
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	1,803	1,627	△ 9.7%	74.0%	2,363	2,200
エリザス	アレルギー性鼻炎治療剤	1,289	1,283	△ 0.5%	53.5%	2,916	2,400
共同販促収入		3,138	3,898	24.2%	73.5%	3,962	5,300
工業所有権等収益		7,854	11,963	52.3%	77.2%	10,378	15,500
医薬品計		67,003	75,798	13.1%	81.0%	87,416	93,600
機能食品計		10,699	11,221	4.9%	77.9%	14,031	14,400
売上高		77,703	87,019	12.0%	80.6%	101,448	108,000

(参考)

	第3四半期累計				通期	
	2018年 3月期	2019年 3月期	前年同期 増減率	進捗率	2018年 3月期	2019年 3月期(予)
販売費及び一般管理費	17,987	19,765	9.9%	72.7%	24,217	27,200
研究開発費	9,051	11,727	29.6%	86.2%	13,221	13,600

(2) 製品開発状況

<国内開発状況>

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
申請中	NS-73 (テ <sup>レ</sup> フイ <sup>ア</sup> <sup>ロ</sup> チ <sup>ナ</sup> トリウム)	血液がん	肝中心静脈閉塞症 (治療)	導入: ジ <sup>ャ</sup> ズ <sup>・</sup> フ <sup>ァ</sup> マ シューティカ <sup>ル</sup> ズ <sup>・</sup> 社	自社
P III	NS-73 (テ <sup>レ</sup> フイ <sup>ア</sup> <sup>ロ</sup> チ <sup>ナ</sup> トリウム)	血液がん	肝中心静脈閉塞症 (予防)	導入: ジ <sup>ャ</sup> ズ <sup>・</sup> フ <sup>ァ</sup> マ シューティカ <sup>ル</sup> ズ <sup>・</sup> 社	共同: ジ <sup>ャ</sup> ズ <sup>・</sup> フ <sup>ァ</sup> マ シューティカ <sup>ル</sup> ズ <sup>・</sup> 社
P III	NS-304 (レ <sup>キ</sup> シ <sup>パ</sup> グ)	難病・希少疾患	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	自社	共同: アクテリオン <sup>・</sup> フ <sup>ァ</sup> マシューティカ <sup>ル</sup> ズ <sup>・</sup> ジ <sup>ャ</sup> パン株式 <sup>有</sup> 限 <sup>公</sup> 司
P III 準備中	NS-32	婦人科疾患	鉄欠乏性貧血	導入: フ <sup>ァ</sup> マコスモス <sup>社</sup>	自社
P II	NS-304 (レ <sup>キ</sup> シ <sup>パ</sup> グ)	循環代謝系	閉塞性動脈硬化症	自社	自社
P II	NS-304 (レ <sup>キ</sup> シ <sup>パ</sup> グ)	整形外科	腰部脊柱管狭窄	自社	自社
P II	NS-580	婦人科疾患	子宮内膜症	自社	自社
P II	NS-17 (ア <sup>サ</sup> ジ <sup>ン</sup> )	血液がん	急性骨髄性白血病	導入: セ <sup>ル</sup> ジ <sup>ン</sup> 社	自社
P I/II	NS-065/ NCNP-01 (viltolarsen)	難病・希少疾患	デュシエンヌ型 筋ジストロフィー	共同: 国立精神・神経医 療研究センター	自社
開発準備中	NS-917	血液がん	再発・難治性急性骨髄性白血病	導入: テ <sup>ル</sup> タ <sup>フ</sup> ライ <sup>フ</sup> ア <sup>マ</sup> 株式 <sup>有</sup> 限 <sup>公</sup> 司	自社
開発準備中	NS-87	血液がん	二次性急性骨髄性白血病	導入: ジ <sup>ャ</sup> ズ <sup>・</sup> フ <sup>ァ</sup> マ シューティカ <sup>ル</sup> ズ <sup>・</sup> 社	自社

<海外開発状況>

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
申請中	NM441 (フ <sup>ル</sup> フ <sup>ロ</sup> キ <sup>サ</sup> ン)	感染症	合成抗菌剤	自社	導出: リ <sup>ス</sup> ・フ <sup>ァ</sup> マ <sup>社</sup>
段階的承認 申請	NS-065/ NCNP-01 (viltolarsen)	難病・希少疾患	デュシエンヌ型 筋ジストロフィー	共同: 国立精神・神経医 療研究センター	自社
P I/II	NS-018	血液がん	骨髄線維症	自社	自社

## (3) 製品開発状況・補足資料

申請中	
NS-73 (デフィブ®ナトリウム)	造血細胞移植後の重篤な合併症である肝中心静脈閉塞症 (VOD) の治療剤である。VODは移植前に行う大量抗がん剤投与や高用量の放射線照射等により、移植後約10%に発現し、重症化すると多臓器不全により80%以上が死亡に至る疾患である。本剤は欧米のガイドラインで唯一のVOD治療剤と位置づけられており、欧米を始め世界各国で発売されている。2017年3月にジャズ・ファーマシューティカルズ社 (アイルランド) から導入し、2018年9月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けた。2018年10月に「肝中心静脈閉塞症」を適応疾患として国内における製造販売の承認申請を行った。
フェーズ III	
NS-73 (デフィブ®ナトリウム)	造血細胞移植後の重篤な合併症である肝中心静脈閉塞症 (VOD) の予防剤である。2018年6月よりPIII試験をジャズ・ファーマシューティカルズ社と共同で開始した。
NS-304 (レキシパ®)	慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象として、2016年6月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けた。PIII試験をアクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社と共同で2016年6月より実施中である。
フェーズ III 準備中	
NS-32	既存薬に比べて、少ない投与回数で安全に高用量の鉄補充が可能な静注の鉄欠乏性貧血治療剤で、世界各国で発売されている。2016年12月にファーマコスモス社 (デンマーク) から導入し、自社単独で国内PIII試験を準備中である。
フェーズ II	
NS-304 (レキシパ®)	閉塞性動脈硬化症を対象としたP II a試験を終了し、2016年8月よりP II b試験を自社単独で実施中である。また、腰部脊柱管狭窄を対象としたP II a試験を、2018年2月より自社単独で開始した。
NS-580	自社開発した経口投与可能な膜結合型プロスタグランジンE合成酵素-1 (mPGES-1) 阻害剤で、ホルモン作用のない子宮内膜症治療剤である。選択的にPGE2の産生を阻害することで、鎮痛効果と病巣の改善効果が期待される。2017年7月よりP II a試験を実施中である。
NS-17 (アザチジン)	急性骨髄性白血病 (AML) を対象として、2018年1月よりP II試験を開始した。
フェーズ I/II	
NS-018	自社開発したJAK2阻害剤で、強力な阻害作用と活性化型JAK2に対する選択性が高いことから、骨髄線維症治療剤として有効性の向上と副作用の軽減が期待される。国内の患者数が少ないことから、米国での臨床試験を先行しており、次試験を準備中である。
NS-065/ NCNP-01 (viltolarsen)	自社開発したアンチセンス核酸医薬品で、変異を受けたジストロフィン遺伝子のエクソン53をスキップさせることでジストロフィンタンパク質の発現を誘導する注射剤である。2015年10月「先駆け審査指定制度」の対象品目として指定された。2016年1月に治験届を提出、P I/II試験を実施し、終了した。また、米国では2016年3月に治験届を提出、P II試験を実施し、段階的承認申請を開始した。FDAより2016年10月にはファストトラック指定、2017年1月にはオーファンドラッグ指定および希少小児疾患指定を受けた。
開発準備中	
NS-917	DNAに取り込まれて殺細胞活性を示す作用メカニズムを持つ再発・難治性急性骨髄性白血病治療剤である。低用量持続静注により高い有効性を示し高齢者にも投与できる安全性が高い薬剤として期待される。2017年3月にデルタプライファーマ株式会社 (徳島市) より導入し、国内における開発を準備中である。海外ではデルタプライファーマ株式会社がPIII試験を準備中である。
NS-87	急性骨髄性白血病 (AML) のうち、他疾患の治療により生じたAML (治療関連AML) や骨髄異形成症候群から移行したAMLなどの二次性AMLに対する国内初の治療剤である。本剤は、シタラビンとダウノルビシンを抗腫瘍効果が最も高くなる割合でリポソーム化した製剤で、骨髄に集積し易い性質により、高い有効性と副作用の低減が期待される。2017年3月にジャズ・ファーマシューティカルズ社 (アイルランド) から導入し、国内における開発を準備中である。海外ではジャズ・ファーマシューティカルズ社が開発し、米国で2017年8月に承認され、欧州では、2018年8月にEMAより承認された。